

(中間報告) ハザードマップの見直し、防災情報の提供依頼と逆流防止ゲートの運用について

2 件のメッセージ

危機管理課 <kikikanri@city.kizugawa.lg.jp>

2025年9月18日 17:43

To: 木津町区2020 <kizumatiku2020@gmail.com>

駒井様

cc 家元

お疲れ様です。

遅くなりましたが、掲題について現在まで確認した事項について説明します

細部は、ぶら下がりメールの「→」箇所になります

残りの部分は、引き続き調査する予定です

よろしくお願いいたします

危機管理課 石津

----- Original Message -----

送信者:木津町区2020<kizumatiku2020@gmail.com>

宛先:"危機管理課" <kikikanri@city.kizugawa.lg.jp>

日時:2025年8月20日 20時39分24秒

件名:ハザードマップの見直し、防災情報の提供依頼と逆流防止ゲートの運用について

>危機管理課 御中

>

> いつもお世話になっております。

> 地域防災リーダーの駒井です。

> 以下の内容について質問と要望を致しますので宜しく

>お願いします。

>

> 我が木津町区自主防災会は地域防災に向けて活動を

>しており、この秋にもマイタイムラインのワークショ

>ップを開催されますが、地域防災リーダーとして協力させ

>ていただいております。

>

> 【Q1】

> 地域の災害に対するリスクを把握するため、市が提供

>したハザードマップを使用するわけです。

> しかし、このハザードマップは木津川氾濫を想定した

>「浸水想定最大規模」と理解していますが、同じ標高の

>木津小学校と木津町区神田地域で浸水位が異なるのはな

>ぜなのでしょう？

> あくまで推測ですが、井関川堤防で木津川氾濫流を抑

>えているためなのか？または、木津川からの距離がある

>ためなのか？

> しかし、木津川氾濫が起こるようなときに排水ポンプ

>稼働し続けて小川内水が木津川に排水していることがあ

>りうるのでしょうか？

→○ 井関川の堤防の存在及び樋管の存在が、木津小と神田地区の浸水規模が異なる理由になります。

- 井関川の堤防の存在が南側（神田地区）への水の流れを制約しているのではとのこと（by 山城南土木事務所）

- 樋管の存在について（by 淀川河川事務所）

木津川沿いの支川「小川」に、井関川の南側にながれる「反田川」からの水路が天井川である井関川の下を通る樋管を介して接続されております

この樋管は、出水時に木津川本川の水位が上昇又は決壊しても閉鎖をしない運用になっております。

このため、木津小から流れる水は、この樋管を通り井関川の南側（神田地区）に伝わり浸水します。

樋管を通るので木津川から直接影響を受ける小学校側よりも浸水高が低くなっているとのこと。

- > 木津川氾濫が発生した時、小川流域、反田川流域は内
- > 水により既に水位が高くなっていると考えるのが一般的
- > ではないでしょうか？

→ 上記の説明の通りです

- > また、鹿川において「家屋倒壊等氾濫想定区域」表示
- > されていないのもおかしいのでは？

→ 山城南土木事務所へ確認中です

- > 以上を考慮したハザードマップの見直しを要望します。

→ 上記の説明のところから、適切に国及び府は氾濫解析を行っていると思料します。
今後、大きな変化点があれば見直しの必要はありますが、現時点では必要ないと思料します。

- >
- > ※過去の浸水実績は表示されているが木津町区浸水深
- > は殆んど3m未満で「早期立退き避難区域」ではない！
- > 本当に大丈夫なの？

→ 国と府はそれぞれ管理する河川について、部外専門家を通じ過去の雨量実績、最新の地形図、その他人工物等を考慮し何千パターンもの氾濫解析を行っていること確認しました。

そのから、最大値を採用し各種見積もりに反映しているとのこと。

大丈夫です。ちゃんと解析し見積もっています。

解析要領については、部外関係者も関連するため、もし細部解析要領について確認必要ならば、淀川河川事務所又は山城南土木事務所に確認されるのがよろしいかと思料します。

>

> 【Q2】

- > 小川、反田川水位と及び鹿川河川における治水施設につ
- > いて水位情報とライブカメラによる河川状況をネット等で情
- > 報公開できるよう早急をお願いします。

- > マイタイムライン作成で重要なポイントである防災情報の
- > 入手が必須であるが、その情報を入手するために、河川状況
- > を確認するために現地に出向く行動は非常に危険である。

- > 特に、木津町区においては・木津地域の雨量、・小川水位
- > ・反田川水位、・合同樋門閉門、・木津川水位&ライブカメ
- > ラ、・不二荘逆流防止ゲート閉門、・高山ダム放流量、
- > ・井関川水位&ライブカメラ、・鹿川水位&ライブカメラ
- > の情報が必要であるが赤字については自宅で入手できな
- > いため、各個人に合った災害リスクの把握が不可能。
- > 以上、赤字の情報を入手できるよう要望します。

→○ 上記について具現するならば、行政要望系統通じ正規に予算をつけてもらう必要があると思料します。

- 府が管理する井関川、鹿川のカメラ等の設置は、市から府へ要望する流れになります。

細部は、地域要望⇒市で審議、府へ要望⇒府で必要で必要性を審議、採用なら⇒次年度設置工事⇒次々年度稼働のながれになります

- 市が管理する河川についても同様かと思料します。

- 同じく、地域要望で具現していくのが確実かと思料します。(時間はかかりますが)
同趣旨は、建設部管理課へも情報提供しておきます

- 地域要望等について、何か助言等できることあればご協力させてください。

木津川市 市長直轄組織 危機管理課
TEL 0774-75-1206 FAX 0774-72-3900
E-mail kikikanri@city.kizugawa.lg.jp

市・危機管理課に問い合わせた件についての回答です。

木津町区相談役 駒井 幸夫